

令和元年度 常葉大学 第4回FD・SD研修会（全学共通研修会）報告

日 時	令和元年 10月23日（水）15:10～16:20		
場 所	常葉大学静岡草薙キャンパス A201 教室、静岡瀬名キャンパス 大会議室 静岡水落キャンパス 第3会議室、浜松キャンパス 412 教室		
講 師	「教育の質保証とシラバス」 出口 憲 副教務部長 「アセスメント・ポリシー策定とその手順について」 佐藤 友紀 副教務部長		
出席者数	常葉大学静岡草薙キャンパス	116 人	
	静岡瀬名キャンパス	10 人	
	静岡水落キャンパス	51 人	
	浜松キャンパス	69 人	
	合 計	246 人	（短期大学部の教職員 18 人含む）

令和元年度第4回FDSD研修会（全学共通研修会）を開催した。初めに、出口憲副教務部長が、「教育の質保証とシラバス」について、研修を行いました。

まず、「教育の質に係る客観的指標」の概要が紹介され、この客観的指標の点数により大学の取組状況が評価され、私学助成金額が変動することが説明されました。この中から、「準備学修等のシラバスへの明記」に関しての詳細な説明がありました。シラバスの作成に当り、「準備学修の具体的な内容及びそれに必要な時間」、「課題に対するフィードバックの方法」、「授業における学修の到達目標及び方法・基準」、「卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連」、「当該授業科目の教育課程内の位置づけや水準を表す数字や記号」といった項目の記述を求めているか、記述しているかがシラバスの評価基準となっており、本学では3つを満たしているかどうかという状況であることが報告されました。今後、授業の準備学修の時間やナンバリングの検討を進める必要があること、来年度のシラバス作成のスケジュールについて説明がなされました。

続いて、佐藤友紀副教務部長が「アセスメント・ポリシーの策定とその手順について」と題し、アセスメント・ポリシーの背景、目的について講演しました。最初に、常葉大学として統合して以降、教育改革・大学改革の1つとして策定された3つのポリシーを活かすためにもアセスメント・ポリシーの策定が重要であることが強調されました。後半では、静岡理学療法学科の3ポリシーを例に、どのようにアセスメント・ポリシーを作成していくか、具体的な作業内容・手順が示されました。アセスメント・ポリシー作成過程のなかで、3ポリシーの見直しの必要性、成績評価についての考え方など多くのことについて考えさせられ、アセスメント・ポリシー作成が大変貴重な機会となることが報告されました。最後に、アセスメント・ポリシーはPDCAサイクルのCの最初であり、PDCAサイクルを回し教学マネジメントを確立するために欠かせないものであることを確認しました。

